

令和4年度 幼児教育研究部 教諭班研究計画

「研究テーマ」 「幼児期に育てたい力」を育む環境や援助の工夫
～遊びの中にある資質・能力を読みとって～

1 研究目標

教諭班では、これまでも発達の読みとりや環境構成、援助の在り方についての実践や協議を継続して取り組んできた。しかし、目の前の子供の表れだけに追われてしまい、発達をおさえた環境構成や援助に難しさを感じている教師も多く、新しい生活様式で感染対策をしながらの保育の中で、さらに実践の難しさを感じるが増えてきている。

園児数の減少から単学級、少人数での保育実践をする小規模園が増えてきている。また、支援を要する子供、外国籍の子供、預かり保育を利用する子供など多様な子供を受け入れながら保育を展開し充実していかなければならない。そこで、教育要領で示されている主体的・対話的で深い学びを実現し、子供の資質・能力を捉える力を身に付けるために目の前の子供の実態や発達を「幼児期に育てたい力」に照らし合わせて捉え、環境構成や援助を考えて保育改善を行なっていきたいと考える。

そこで、本年度の研究テーマを『「幼児期に育てたい力」を育む環境や援助の工夫～遊びの中にある資質・能力を読みとって～』とし、教師一人一人が、幼児を理解する力を身に付け、確かな育ちにつなげるための環境や援助の工夫について積極的に学び合い、教師の資質・専門性の向上を図りたい。

2 研究内容

- (1) 幼児理解に努め、各自が実践研究を行い、「幼児期に育てたい力」を基に育みたい資質・能力を読みとる。さらに環境・援助の在り方を学ぶことにより保育改善につなげる。
- (2) 保育力を高め合うための教材研究や情報交換をする。

3 研究方法

(1) グループ構成と役割について

- ① 教諭班を4つのグループに分け、自分の学年や役割に応じた研修をする。希望を募りグループ分けを行う。
- ② グループは次の通りとする。
 - ア 1～3グループ 学年別保育研修（学年別・加配教諭を含む）
 - ・「幼児期に育てたい力」の子供の育ちの姿につながった環境構成や援助方法について遊びの写真から子供の姿を読みとり協議していく。また、育まれている資質・能力を「幼児期に育てたい力」の10項目で捉え、確かな子供の育ちにつながっているか協議する。
 - イ 4グループ 預かり保育研修
 - ・預かり保育の運営について情報交換をする。

(2) グループ協議について

① 第1回

- ・自己紹介やグループ協議の方法や進め方について話し合い共通理解を図る。
- ・司会、記録を決める。
- ・教材研究（資料持参）や情報交換を行う。
- ・第3回目の教材研究の時に話し合いたい内容、持ち寄る資料を決める。（例：歌・絵画・製作・表現・行事など）

② 第2回

- ・講演 静岡県立大学短期大学部 教授
- ・グループ協議を行う。（遊びの写真から子供の姿を読みとり協議、預かり保育の運営方法について協議）

③ 第3回

- ・グループ協議を行う。(遊びの写真から子供の姿を読みとり協議、預かり保育の運営方法について協議)
- ・教材研究(資料持参)や情報交換を行う。

(3) 教材研究について

- ① 第1回目は各自考えたもの、第3回目はグループで決めた内容の資料を持ち寄り、教材研究や情報交換を行う。教材資料は、各自グループメンバー分を印刷して、研修当日に持参する。

4 研究計画

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、日程や内容が変更になることがあります。

回	日 時	内 容	会 場
1	6月 8日 (水) 午後	1 グループ協議 ・自己紹介、自己課題の伝え合い。グループの視点に基づいた協議と共通理解を図る。 2 助言者御指導	浜松市 教育会館
2	7月 27日 (水) 午後	1 全体会 ・園長会長あいさつ ・講演 静岡県立大学短期大学部 教授 2 グループ協議 ・グループの視点に基づいた協議 3 助言者御指導	浜松市 教育会館
3	10月 26日 (水) 午後	1 グループ協議 ・グループの視点に基づいた協議 ・教材研究、情報交換 2 助言者御指導	浜松市 教育会館